

教職スタートアップ研修会報告書

2024年2月7日(水)、北部生涯学習推進センターにて「教職スタートアップ研修会」を開催しました。

本研修は、通算 3 回目となりますが、今年は国頭教育事務所から4人の指導主事を講師としてお招きしました。4月から教壇に立つ予定の県内勤務希望者4名、県外での勤務希望者3名の計7名の学生が参加しました。

最初に、千葉晶子主任指導主事より、「教師になる皆様へ」と題して、学習指導要領改訂の考え方、子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての能力を備えている教職員の姿、いい教師の条件についてお話がありました。



次に、「学級経営について」をテーマに玉城聖江社会教育主事より説明がありました。どんな学級をつくりたいですか、学級経営ってどんなことするの？ 教師として、一人の人間として心がけたいことは？ こんな場面ではどうするの？ など、具体的な場面設定を投げかけ、教師として心がけたい大切な言葉の紹介がありました。さらに、持続可能な社会の担い手として自立した学習者をどのように育てるかについて、これからの教師の成長を応援する厚い思いが伝わってきました。



続けて、宮城右指導主事から、「生徒指導」をテーマに、生徒指導の定義及び教育活動における生徒指導の位置づけなど、生徒指導の重層的支援構造についての解説がありました。例えば、いじめ問題への対応や児童生徒理解の重要性及び組織的な対応について、チーム学校としての対応姿勢やキーワードを挙げた丁寧なレクチャーでした。



おわりに、指導班の仲宗根指導主事より一人一人の特性に応じた手立てや、できた喜び、わかった喜びを味わわせる「児童生徒が主体的に学びに向う」指導方法や、特別支援学級における自立活動や教師の支援について、現場の様子をより具体的に体験できるスライド紹介もありました。むすびに、「皆さんが教師として学校現場で活躍している姿を心から楽しみにしています。」という激励のメッセージで研修会を締めくくりました。



★ 受講者の学び

- 学級経営や生徒指導など、これまでイメージしにくかったもの、コトの意味や意義を確認でき、自分の中で整理できた。
- 現場の事例を聞くことができたので大変良かった。

自分の気持ちや目指したいものを再確認できた。現場のリアルな話を聞くことができて良かったです。

- 保健室には生徒の悩みや本音等が集まりやすい、又、生徒の課題にはチームとして全体で対応していくことが重要とことだったので情報収集及び共有・発信ができる存在になりたいと思った。
- 玉城先生が子ども達との関わり方で簡単なアイスブレイクが効果的とおっしゃったので活用したい。又、仲宗根先生も花を生ける等、子供に対して教育的愛情を持って教育活動をやってくれたと感じました。そのことからオリジナリティのある関わり方や姿勢を持ちたいと思った。
- 今日の研修会を通して、生徒や他の職員、保護者と真摯に向き合うことが大切であると学びました。答えを与えたり、全て指導するのが教師ではなく、そこにたどり着くまでの過程を伝えることが大切だと学びました。

- 研修会の発問で、改めて自分はどの様な教師になりたいのか、どの様な思いで教師を目指しているのか考えることができました。子供、教師、保護者と関わる際に学んだことを活用したいです。

★ 教職スタートアップ研修会で学んだこと、印象に残ったこと、感想等

○「教師になっても学び続ける」という言葉を多くの講師から聞いたのが印象に残っている。

実際に教壇に立つのは、大学院を卒業した2年後であるが、その時に今日学んだことを活かしていきたい。

本日は貴重なお話を頂きありがとうございました。

○来年から教職大学院で学級経営と授業実践について学びます。まだ、教育実習でさえも不安な私ですが、今日の話を聞いて、子ども達との向き合い方や教師としての在り方を再確認する事ができ、教職に就いてから頑張りたいと再度気持ちを固めることができました。子ども達を誰一人見捨てない、そんな教師を目指して頑張ります。

○学級(保健室)経営において大事なこと、子供、同僚、保護者と関わる際に意識することについて学ぶことができました。まだまだ知識・技術不足なところが沢山有ると思いますが、学ぶ姿勢と誠実な態度を心がけていきたいと思います。貴重なお話を聞けて良かったです。ありがとうございました。

○学級経営や生徒指導は養護教諭とあまり関係ないと思っていたのですが、そうではなく、全て繋がっていることを学ぶことができました。保健室は様々な課題を抱えた生徒や情報が来るので一人で抱え込まず、他の教員と連携して課題解決していきたいと思いました。自分の目指す養護教諭、保健室を作っていけるよう頑張ります。そして、失敗をおそれずチャレンジしていきます。お忙しい中ありがとうございました。

○先生になるに当たって、不安が凄く大きかったが、講師の先生方の経験談も踏まえながら聞いていると最初は落ち込むことや不安があっても、それに勝る喜びもあり、やりがいのある仕事であると感じた。そして、現場にでた時には援助欲求を頭に置いて一人で抱え込まず、先輩方に協力や助言を求めながら頑張っていきたい。

○4月から臨時として働きたいと思っているものの、不安な気持ちが大きくなるばかりでした。しかし、今日の話を聞いて先生方が現場での想いを楽しそうに語るのが印象的でした。今は不安よりも4月からの仕事が楽しみです。貴重なお時間をありがとうございました。

○研修前は、4月からの学校現場に大きな不安がありましたが、研修を通してそり以上に喜びやワクワクが沢山あると感じました。子供に「どうしたの?」と問いかけること、主体性を大切にする指導を心がけたいと思います。どんな教師になりたいかを改めて考えた時、自分が生徒の時に助けてくれ、手を差し伸べてくれた先生のように子供の日頃の様子をよく見て、変化に気づき、行動できる教師になりたいと思いました。本日は、貴重なお話を沢山して頂き、本当にありがとうございました。

「教職スタートアップ研修会」は、教員を志望して4年間頑張った学生達が、4月から教壇に立つことへの不安を緩和したいと考え企画しています。

新しい環境に飛び込む不安は、誰にでもあるものですが、教員の仕事は、日々の実践を通して、児童生徒との触れ合いの中でやりがいを見出し、その不安を喜びに変えていくものだと思っています。

研修後の学生の感想には、4人の指導主事の皆さんの楽しそうな表情や力強い言葉から、教職への熱意とやりがいや魅力が伝わり、不安から期待へ変わっていく様子を垣間見ることが出来ました。名桜大学での4年間の学びに自信をもって教壇に立ち、成長していく皆さんを応援したいと思います。

国頭教育事務所の指導主事の皆様に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

